

## PS 及び SM の 2022 年 12 月度および年間実績概況

(PS)

### 1) PS の 2022 年 12 月度の実績概況

生産は 43.6 千トンとなり、前月比-16%、前年同月比-29%となった。

国内出荷は 46.0 千トンと前月比-2%、前年同月比は-10%となった。

用途別では、包装用は前月比+1%、前年同月比では-9%の 21.2 千トンとなった。分野別では、OPS、乳酸菌が前月比プラス、HI シート、射出成型その他の分野が前月比マイナスとなった。前年同月比では乳酸菌がプラスだった他、HI シート、OPS、射出成型その他はマイナスとなった。

雑貨・産業用は前月比-3%、前年同月比-20%の 6.1 千トンとなった。

フォームスチレン用は前月比-7%、前年同月比-9%の 13.5 千トンとなった。分野別では、PSP、ボード分野共に、前月比マイナス、前年同月比では PSP がプラス、ボードはマイナスとなった。

電機・工業用は前月比-2%、前年同月比-4%の 5.2 千トンとなった。分野別では、事務機器が前月比でプラス、生活家電、記録メディアはマイナスとなった。前年同月比では、すべての分野でマイナスとなった。

輸出は 2.3 千トンで、前月比-10%、前年同月比では-61%となった。

出荷合計は 48.3 千トンと前月比-3%、前年同月比-15%となった。

在庫は、前月比-4%、前年同月比+8%の 108.3 千トンとなった。(在庫月数 2.2 ヶ月)

11 月度の輸入は前月比並みの 2.6 千トンとなり、前年同月比ではプラス(前年同月 2.4 千トン)となった。11 月までの累計を年間に換算すると 27.0 千トン相当となる見込み。

### 2) PS の 2022 年 年間の実績概況

2022 年年間生産量は、653.8 千トンとなり、前年比-9%であった。

国内出荷は 598.4 千トンとなり、前年比-7%となった。包装用は 276.1 千トンとなり、前年比-4%と減少、乳酸菌分野で増加するも HI シート、OPS、射出成型その他分野でマイナスとなった。雑貨・産業用は 83.3 千トンと前年比-12%となった。フォームスチレン用は 171.7 千トンとなり、前年比-8%と減少、PSP、ボード分野共に前年比でマイナスとなった。電機・工業用は 67.2 千トンで前年比-12%となった。各分野で前年比マイナスとなった。

輸出は、47.5千トンで前年比-29%となった。

出荷計では、前年比-9%の645.9千トンとなった。

在庫は、108.3千トンとなった。(在庫月数2.2ヶ月)

2022年の輸入は、1～11月まで、各月で前年同月を上回っており、11月までの累計は24.8千トン、年間に換算すると27.0千トンに相当し、前年比+41%となる見込み。

(昨年は、年間19.2千トン。一昨年は、年間29.8千トン(実績値))

2022年を振り返ると、コロナ禍からの回復が見えた2021年と比べ、内需、生産共に低調に推移した。国内出荷は、コロナ禍となった2020年を更に下回る598.4千トンとなり、輸出も47.5千トンと2021年を29%下回り、結果として生産も対前年比-9%の653.8千トンと低調となった。

内需を用途別にみると、各用途で前年を下回っており、特に電気・工業用途、雑貨・産業用途での対前年での落ち込みが目立つ結果となった。

輸入は2022年11月までのデータからの換算値となるが、前年を上回り年間27千トン相当となる見込み。

(SM)

## 1) SM の 2022 年 12 月度の実績概況

生産は前月比-5%、前年同月比-24%の 127.0 千トンとなった。

国内出荷は 95.9 千トンとなり前月比-6%、前年同月比-14%となった。

用途別では、主力の PS 向けは前月比-34%、前年同月比-29%の 35.3 千トンとなった。EPS 向けは前月比+12%、前年同月比+6%の 9.4 千トンとなった。ABS 向けは前月比+10%、前年同月比-10%の 18.8 千トンとなった。合成ゴム向けは前月比+48%、前年同月比-5%の 11.9 千トンとなった。不飽和ポリエステル向けは前月比-19%、前年同月比+22%の 3.1 千トンとなった。

輸出は、前月比-8%、前年同月比-35%の 36.0 千トンとなった。

出荷合計は、前月比-6%、前年同月比-21%の 132.0 千トンとなった。

在庫は、前月比-3%、前年同月比-10%の 68.5 千トンとなった。(在庫月数は 0.5 ヶ月)

## 2) SM の 2022 年 年間の実績概況

2022 年年間生産量は、1,542.2 千トンとなり、前年比-21%であった。

国内出荷は 1,267.1 千トンと前年比では-11%となった。

主力の PS 向けは 612.6 千トンと前年比-10%であった。ABS 向けは 216.9 千トンで前年比-16%、合成ゴム向けは 119.9 千トンと前年比-14%、EPS 向けは 94.9 千トンと前年比-6%、不飽和ポリエステル向けは 34.1 千トンと前年比-6%と、全ての用途で減少した。

輸出は 304.9 千トンとなり前年比で-44%の減少となった。

出荷計では、前年比-20%の 1,572.0 千トンとなった。

在庫は 68.5 千トンとなった。(在庫月数は 0.5 ヶ月)

2022 年全体では、生産量、内需ともコロナ禍からの回復が見えた 2021 年を下回っている。輸出は 4 月～9 月の減少の影響で、2021 年より大きく減少し、出荷合計のおよそ 2 割弱となった。引き続き国内出荷を確保する構造となっている。

(以上)